



いいたん基礎教養通信 vol.4

みなさんこんにちは。いいたん基礎教養通信、今回もオープンキャンパス(7月)先行配布号でお送りしています。



はじめましての皆さんも、WEBで
会った皆さんもよろしくにゃん！

専門学校にはない幅広い学びの実現を目指す30程度の科目群である基礎教養の利点の一つに、ふだんの専門学習で煮詰まったときに他学問からのヒントを得られる機会として機能する、というものがあります。



専門以外からの広い視点が専門の役に立つということがあるにゃんね。

たとえば、介護や看護の専門学習で、人は生涯発達する、という考え方を学び、老いたり衰えたりすることも「発達」だって、どういうことなんだろう？精神的には成長することなのか？などと疑問がずっと引っかかるということがあるかもしれません。そんなとき、基礎教養で教育学や心理学を履修したら「発達」の授業があってスッキリ理解でき、専門学習の質や効率が上がったというようなことが起こるのです。「発達」の授業がなくとも教育学や心理学の教員に直接質問しやすいわけですから、そうしたチャンスは得やすくなりますね。



大学の他学科の先生も頼れるにゃんて
心強いにゃん。

幅広い学びで、専門学習の効率も質も上げることができる、そんな基礎教養をみなさんもいいたんで学んでみませんか？